

佐賀駅前広場等整備・活用検討会議（第2回）

■日時 令和3年1月21日(木) 14:00～16:00

■場所 佐賀市役所 庁議室

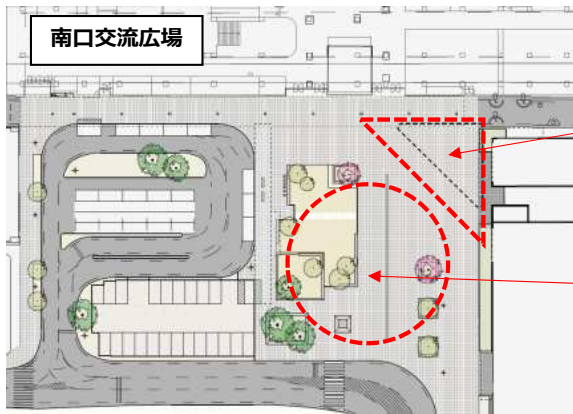
■参加者 荒牧会長、香月副会長、有馬委員、植松委員、牛島委員、江口委員、江頭委員、江副委員、川崎委員、木下委員、柴戸委員、白井委員、富吉委員、西村委員(WEB)、馬場委員、福成委員、前川委員、保田委員

■議題 ○前回会議振り返り

○駅前広場の整備・活用について

○県道佐賀停車場線の検討状況について

■南口交流広場の整備



【大屋根の整備】

・駅～コムボックスの通路機能だけではなく、**屋根下を広場として活用できる設えの大屋根**を整備

【交流広場の整備】

・大屋根の形状変更、活王者等の意見を踏まえながら整備内容について検討
→利用しやすくまた、管理しやすい駅前広場へ

■南口交流広場の活用(活用しやすい広場とは)

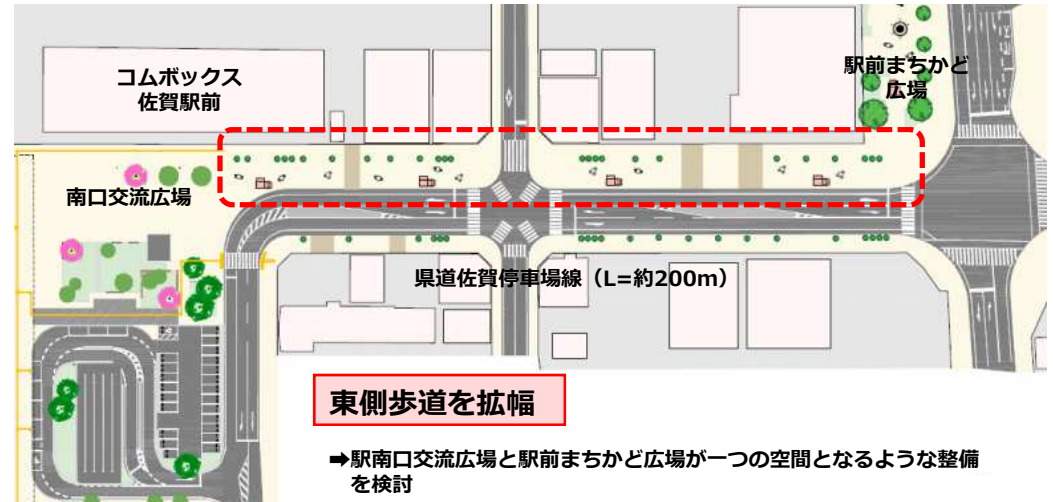
【(株)佐賀広告センター（宮副氏）】

- 駅はシンボル。デザインや**照明・映像の力**でお金をかけずに整備することは可能。
→交流広場の真ん中が強調されるように、大屋根を中央へ移動させればインパクトのある駅前広場となるのでは。
- 広く多目的に利用できる広場**であること。（日常・非日常の使い分け）
- 具体的には**電源、給水、照明、レンタル用品等**がそろっていることが使いやすい広場の条件となる。

【(株)ライフプロ（有岡氏）】

- 使いやすい広場とは、
 - ①構造物はシンプルである（**広くフラットでベンチなどの構造物は可動式がよい**）
 - ②**インフラが整備**されていること（電源、給水、照明、テント等の固定フックなどが整備されていること。）
 - ③**基本設備が常備**されていること（テント、机、椅子等がその場で借りれること。）
→①②③の条件が揃っていること。
- 駅南口広場は、多くの人の流れがあり**イベント向きの場所**、あと必要なことは、「**十分なスペースの確保**」と「**使い勝手のよさ**」

■県道佐賀停車場線の検討状況



東側歩道を拡幅

→駅南口交流広場と駅前まちかど広場が一つの空間となるような整備を検討

■意見交換(委員意見) ※一部抜粋

【駅前広場の整備について】

- ・**広い屋根を整備することは良いことだ**と思う。
- ・屋根は日常快適に利用できる駅の風景として**広い大屋根のイメージが良い**のではないかと。
- ・**イベントステージとしての利用もできるので非常に良い**と思う。
- ・広場に**季節を感じるものは欲しい**。

【南口交流広場の活用について】

- ・広場等でイベントをやっていない**日常時の空間演出**で参考になるような事例があれば教えて欲しい。
- 使いやすくすればするほど、フラットで殺風景になるという面はあるが、日常は通行の場であり、あまり施設として造り込み過ぎない方がよい。**
- 佐賀の冬の風物詩としてライトファンタジーがあるので、**イルミネーションなどで飾ること**なども考えてはどうか。

【県道佐賀停車場線の検討状況について】

- ・南にも足を運びたいような整備にしなければいけないと思う。
- ・**東側歩道を拡幅の案はとても良い**。
- ・**全体の幅員構成については、**いろいろな側面を考慮しながら**今後検討していく必要がある**と思う。